

中川原公園の未来を語る会 人吉城跡公園の未来を語る会 合同開催

2024年
2月8日(木)

① 14 : 00 ~

② 18 : 00 ~



2

整備コンセプト・整備方針

【過去の利用状況】

- 川遊び、釣り、カヌー、河川調査
- スポーツ・楽器の練習、イベント会場
- キャンプ、BBQ、おくんち
- 散歩、ウォーキング、ランニング
- 視覚障がい者の交流会、遠足
- 駐車場、車中泊 など

【これまでの意見】

- 自然・景観（親水空間の整備、季節を感じる工夫、周辺資源と一体的な景観維持 など）
- イベント・アクティビティ（各種イベント会場の整備、アウトドアの拠点の整備 など）
- 歩行空間・照明（安全に歩くことができる園路整備、安全性格のための照明設置 など）
- 交流（日常的に利用者が集う工夫、多様な世代が集う場の整備 など）
- 災害（災害履歴が分かる工夫 など）
- 維持・管理（利用者のマナー向上、公園施設の維持 など）

【目指すべき分野別将来像】

- 1 歴史・地域資源とふれあえること
- 2 河川や樹木などの豊かな自然を感じることに
- 3 多様な目的を持った人々が交流できることに
- 4 自然と共生し安全に過ごせることに
- 5 誰もが気持ちよい時間を過ごせることに

【整備コンセプト】

誰もが自由に
つどい・つかい・つなげながら育む
“止まり木”となる場

【整備方針】

誰もが憩い“つどえる”場

気持ちよく“つかえる”場

様々な要素を受け入れ“つなぐ”場

2

整備コンセプト・整備方針

方針1

誰もが憩い“つどえる”場

- 市民や観光客、子どもや高齢者、活動したい人やくつろぎたい人など、様々な属性や目的を持った人々がつどい・交流する場
- まちなかから少し離れた場所で、安らぎ・憩える場
- 人吉市を代表する球磨川の風景の一部を担う場

方針2

気持ちよく“つかえる”場

- 散歩や井戸端会議など、市民の日常的な居場所となる場
- 非日常体験ができる場
- 水上アクティビティを通じて、川とふれあうきっかけを与える場
- 賑わいを生むイベントが実施できる場
- 一定のルールの基、市民や来街者など、様々な利用者が気持ちよく過ごせる場

方針3

様々な要素を受け入れ“つなぐ”場

- まちなか・歴史・自然とふれあえる場
- 未来の世代につなげながらともに育てる場
- 災害の記憶の継承や地域の防災学習への活用ができる場
- 定期的な浸水を受け入れ、まち全体の防災力向上に寄与する場